

TOEIC対策の勉強ではなく

# 話せる 英語が手に入る

## 英語学習スターターブック

日本人のための学習法を熟知した  
スラスラ話せる英語の専門家  
ぎいな

成功者だけ  
が知っている！

言語習得のゴールデンルール





# ぎいなかからのメッセージ

おめでとうございます！！

本電子書籍を受け取ったあなたは、  
英語学習の本質を理解することができるので、  
**英語学習の習得において遠回りすることがなくなります。**

日本人の多くの英語学習者が、  
一生懸命、勉強しているのにも関わらず、  
全然英語を話せるようになりません。

## 「なぜでしょうか？」

**それは英語学習における本質を抑えていないからです。**

何事もそうですよね？

- ✓地図を持たずに、知らない場所へ旅に出る
- ✓マラソンのルートを確認せずに、走り続ける
- ✓レシピが分からない状態で、やみくもにケーキを何度も作る

旅行するとき、マラソンに出るとき、料理をするとき、こんなことは絶対にしないですよ。

それでも、なぜか英語学習になると、こういうことを平気でやってしまうんですよ？

最近は、インターネット、SNS、生成AIなど、テクノロジーの進化により、多くの情報が飛び交う世界になりました。

便利な世の中になった一方で、

今の自分にとって何が必要で、

何が重要なのかを自分で判断しなければなりません。

✓海外で1年生活したら、英語がペラペラになった

✓オンライン英会話を使えば、英語が話せるようになる

✓これからは、を使って英語学習するべきだ

たとえば、こういう情報・発信内容ですね。

もちろん、これらを否定するつもりはありません。

しかし、これらは、

✓自分とは違う目的を持ち、

✓自分とは違う英語レベルの状態で、

✓自分とは違う性格の人が

取った方法です。

こういった自分ではない他人の成功事例ではなく、

今の自分にとって何が必要なのかを、英語学習の本質に

沿って、自分の頭で考え、実行する必要があります。

そのために、本書はもっと俯瞰的な視点で、どういう手順で英語学習をするべきなのかを丁寧に解説いたします。

英語学習と言いましたが、  
英語以外のその他の言語習得に関しても学習プロセスの本質は  
変わらないです。

なので、本書を読み切れば、  
今後言語学習のプロセスを理解した上で今の自分に何が必要なの  
かを正しく理解できるようになるでしょう！

そこまで文量も多くないので、最後までじっくり読んでくださ  
い。

# 目次

## 第1章：英会話習得の基礎と本質

- ① 必要な学習量を行う
- ② 正しいやり方で学習する
- ③ 継続する

まとめ

## 第2章：英語を構成する3つの知識

英語の構成要素はたった3つ

- ① 単語知識
- ② 文法知識
- ③ 発音知識

まとめ

## 第3章：実践的な英語力を身につける

英語を使う目的

- ① リーディングスキルを伸ばす学習法
- ② リスニングスキルを伸ばす学習法
- ③ ライティングスキルを伸ばす学習法
- ④ スピーキングスキルを伸ばす学習法

まとめ

# 目次

## 第4章： 英語力ゼロからの英会話ペラペラまでの学習戦略

- ① 現状の把握と目標設定
- ② 英語の基礎を固める
- ③ 英語を使う
- ④ 改善を続ける

まとめ

## 第5章：モチベーションを高めるコツ

- ① 具体的な目標を設定する
- ② 学習の進捗を記録する
- ③ ご褒美を設定する
- ④ 自分に合った方法で学習する
- ⑤ 学習仲間やコミュニティを活用する

## 終章： あなたが英語学習をやるべき理由

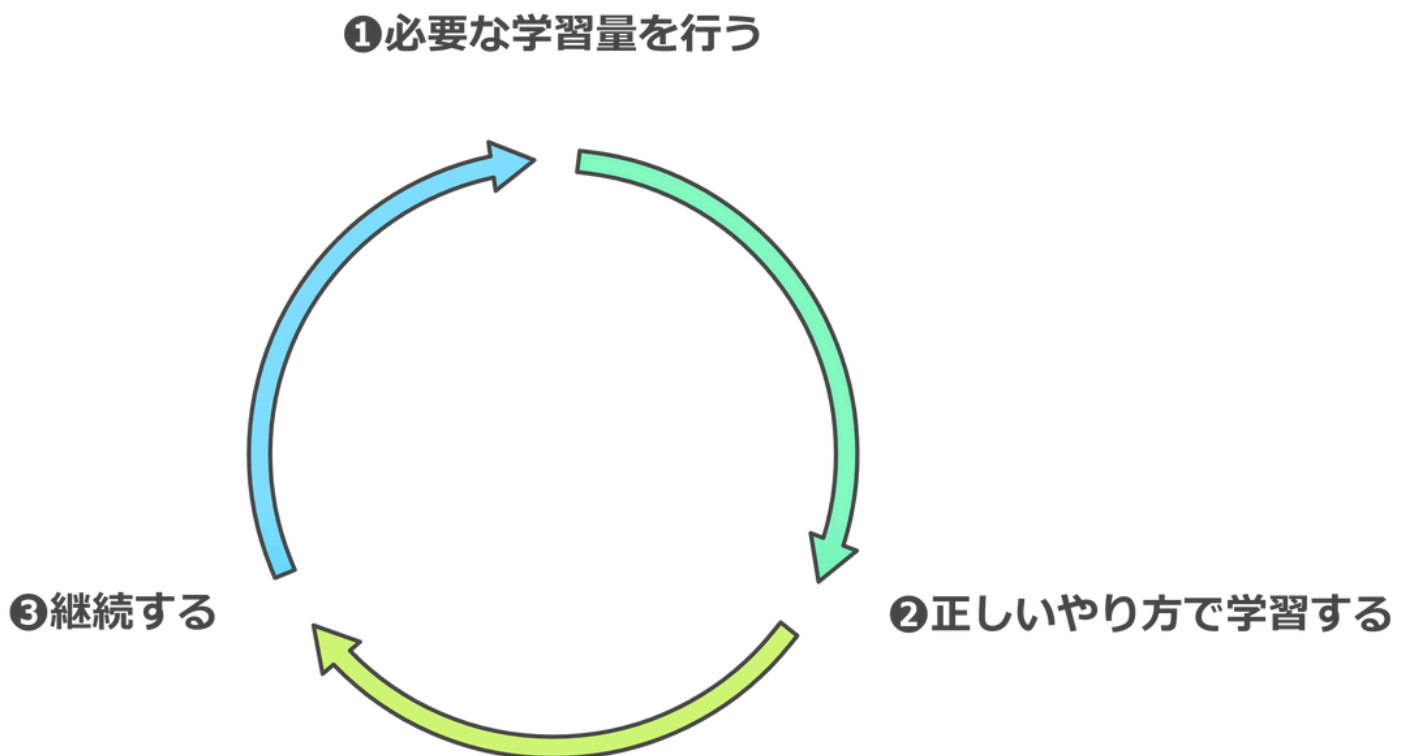
# 第1章：英会話習得の基礎と本質

結論、英語ができるようになるために大事なことはたった3つだけです。

## 英語学習の本質

- ①必要な学習量を行う
- ②正しいやり方で学習する
- ③継続する

それぞれ詳しく説明していきますね。



# ① 必要な学習量を行う

あなたは、英会話習得に「必要な学習量」が  
どれくらいかご存じですか？

一般的に、英会話を含む英語習得には、  
**約2,400～2,700時間**かかるとされています。

しかし、日本人の多くは中学や高校、また大学などですでに英語を勉強しているため、平均的な学習時間の累計は、約800～900時間。

そのため、社会人が新たに英会話を習得するには、残りの約1,500～1,900時間が目安となります。

毎日2時間勉強すると、**最低でも2年以上がかかる計算**ですね。

もちろん個人差はありますが、確実に言えることは、  
**英会話習得には継続的な努力が必要**だということです。

まず前提として、必要な学習量なしに英語は上達しないことを理解しておきましょう。



## ② 正しいやり方で学習する

英語習得に必要なことの2つ目は、  
「正しいやり方」で学習を行うことです。

「必要な学習量をこなしているのに、なかなか成果が出ない…」  
と悩んでいる方の多くは、  
**間違った方向に努力をしている可能性が高いです。**

以前の私も、目標に直結しない非効率な勉強法をがむしゃらに行っていて、、、

結果として、「頑張っているはずなのに、全然成果が出ない！」  
という悔しい思いをし、多くの時間とお金を浪費しました。

最終的には、「自分は結果も出せないダメな人間なんだ…。」  
と、自己嫌悪にまで陥りました。

これを読んでくださっている皆様には、  
**同じ経験をして欲しくないです。**

**では、正しいやり方とは何なのでしょう？**

それは、**目標と現状、そしてあなた自身に学習スタイルを掛け合わせて第二言語習得のプロセスに最適化した学習**です。

## ② 正しいやり方で学習する

これだけだとピンとこないと思うので、もう少し丁寧に説明していきます。

具体的には、以下のポイントを押さえて学習を進めることが重要です。

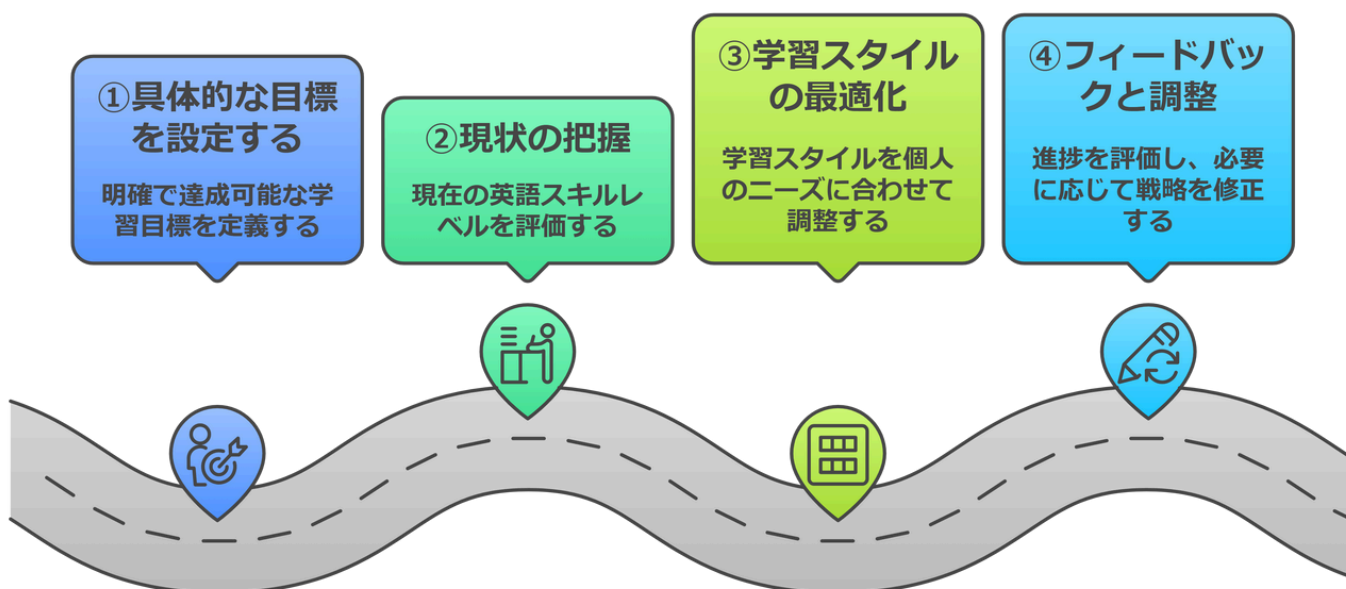
### 英語学習の正しいやり方

- ①具体的な目標を設定する
- ②現状の把握
- ③学習スタイルの最適化
- ④フィードバックと調整

それぞれ説明しますね。

この正しいやり方が本当にコアなポイントとなります。  
少し長めになりますが、頑張ってください。

### 英語学習の正しいやり方



# ①具体的な目標を設定する

具体的な目標を立てることは、  
英語学習を進める上で非常に重要です。

目標がないと、どこに向かって学習を進めれば良いのか分からず、勉強方法も定まりません。

まさに、目的地が分からず、旅に出ている状態ですね。

また、目標は英語学習のモチベーションにも大きく影響します。

以下の手順で具体的な目標を立ててみましょう。

1. 目標達成までの期間を決める
2. 実現可能な目標を設定する
3. 達成が分かりやすい目標を立てる

詳しく説明します。



# ①具体的な目標を設定する

## 1.目標設定までの期間を決める

目標を設定するときは、  
達成までの期間を明確に決めましょう。

期限を設けることで、学習にメリハリがつき、  
✓「ダラダラと勉強する」  
✓「後回しにする」  
といった事態を避けられます。

特に日常生活で英語を使う機会が少ない場合、  
英語学習の優先度はどうしても下がりがちですね。

例えば、3ヶ月で300ページの参考書をマスターする目標を立てた場合、1ヶ月に100ページ、1日に約3ページを学習する計画が立てられます。

期限を設定すると、具体的なスケジュールを逆算して組めるので、効率的な学習が可能になりますよ！

長期的な目標を設定する際には、短期・中期的な目標も立てて、**達成感を味わいながら学習を進めることがおすすめです。**

# ①具体的な目標を設定する

## 2.実現可能な目標を設定する

目標は達成可能なものでなければ意味がありません。

理想を高く持つことは大切ですが、現実的な範囲で設定しないと挫折しやすくなります。

例えば、英語初心者が1ヶ月以内にTOEICで900点を取るといった目標は無謀ですね。

このような目標では、**達成できないことで自信を失い、英語学習自体が嫌になってしまいます。**

私は、こんな経験を何度しました笑

まずは、自分の現時点での英語力を客観的に把握し、それを基に**3ヶ月から半年程度の期間で達成可能な目標を設定しましょう。**

目標が実現可能であれば、達成に向けての意欲も湧いてきますからね！



# ①具体的な目標を設定する

## 3.達成が分かりやすい目標を立てる

目標は、なるべく達成できたかどうかははっきり分かるものがおすすめです。

具体的には、次の2つの方法で目標を設定することが有効です。

- 合否がわかる目標
- なるべく数値化できる目標

英会話はなかなか数値化が難しいですが、例えば、「瞬間英作文で8割以上を瞬時に作れるようになる」など、なるべく数値化して目標を立てられるといいですね。

これらの目標は、達成の有無が明確なので、結果に対するモチベーションを維持しやすくなります。

逆に、

「英語が話せるようになる」「TOEICのスコアをアップさせる」といった漠然とした目標では、結果が曖昧になりがちです。

また、英語学習の目標を立てる際には、具体的な期間、実現可能なレベル、達成が明確な目標を設定することが大切です。

自分に合った目標を設定し、達成感を味わいながら学習を進めましょう。

英語学習は継続的な努力が必要ですが、正しい目標設定をすることで、効率的に学習を進めることができますよ！

## ②現状の把握

続いて、②現状の把握です。

ちょっと、

「①具体的な目標設定を設定する」

このパートが少し長かったなので、全体像を整理します。

### 【英会話習得の全体像】

① 必要な学習量を行う

② 正しいやり方で学習する

① 具体的な目標設定をする

1.目標達成までの期間を決める

2.実現可能な目標を設定する

3.達成が分かりやすい目標を立てる

② 現状の把握 ➡次はここです

③ 学習スタイルの最適化

④ フィードバックと調整

③ 継続する

②正しいやり方で学習をするの、

「①具体的な目標を設定する」まで説明したので、  
続いて、「②現状の把握」について解説していきます。

少し難しいかもしれませんが、こちらが言語習得の本質です。  
頑張って最後までついてきてください😊

## ②現状の把握

具体的な目標＝ゴールを設定できたら、次は「現状の把握」です。

自分の**現在の英語力を正確に把握**することも欠かせませんよ。

これにより、どの部分を重点的に強化すべきかが明確になりますからね。

現状を把握するために、以下の方法があります。

1. 模擬試験を受ける
2. プロのコーチからFBを受ける
3. AIに判定してもらう

こちらも、丁寧に解説します。



## ②現状の把握

# 1. 模擬試験を受ける

TOEICや英検などの模擬試験を受けて、  
客観的なスコアを把握しましょう。

最近ではオンラインで気軽に受けられるレベルチェックテストも増えてきていますね。

これにより、自分の英語力を客観的に評価することができます。

模擬試験は、どのスキル（リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング）に強みや弱みがあるかを知る手助けになりますよ。



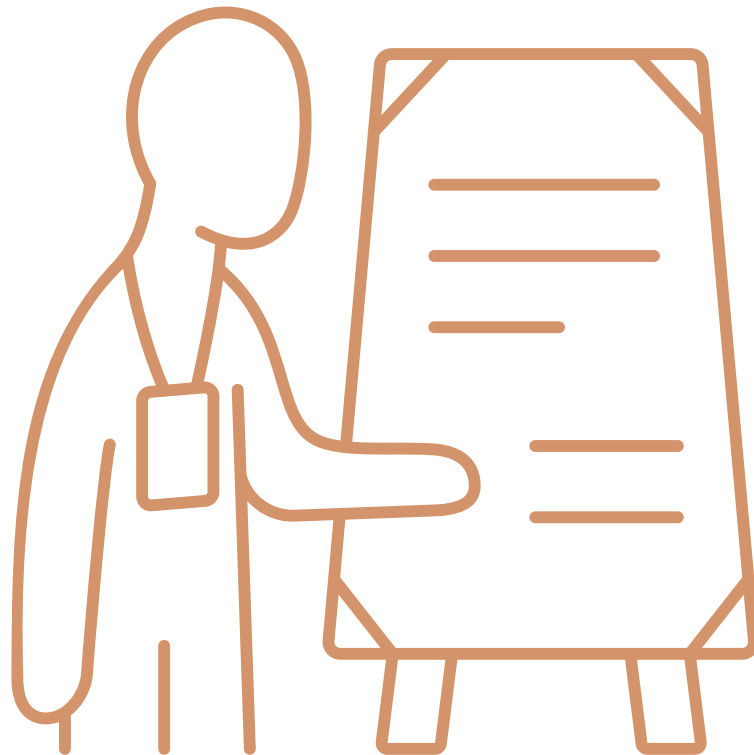
## ②現状の把握

# 2. プロのコーチから フィードバックを受ける

プロの英語コーチから、  
フィードバックを受けることも有効です。

コーチはあなたの英語力を評価し、  
強化すべきポイントや効果的な学習方法を提案してくれます。

プロの視点からのアドバイスを受けることで、  
自分では気づかない改善点を見つけることができますよ。





## ②現状の把握

### 3. AIに判定してもらう

最近では、AIを活用して英語力を判定するサービスも増えています。

例えば、AIがリスニングやスピーキングのテストを実施し、即座に評価とフィードバックをしてくれます。

これにより、**自分の弱点を効率的に把握し、具体的な改善策を知ることができますよ。**

ただAIに関しては、ブラックボックスなことも多く、どこまで信じていいのか、特に英語学習初学者の方には難しいと思うので、「模擬試験の結果」や「他人からの客観的なアドバイス」と併用するのがよいでしょう。

以上が現状を把握する方法の一例です。  
AIや模擬試験では定量的に数値で計測してくれるので、非常に心強いですね。

しかし、英会話は人と人、人同士のコミュニケーションです。  
テストの点数やAIの判定が悪くても、しっかり伝わればOKだと思いませんか？

そのため、  
**「自分ではない他の人に客観的に見てもらう。」**  
**この方法を一番おすすめします！**

# ③学習スタイルの最適化

続いて、③学習スタイルの最適化です。

## 【英会話習得の全体像】

① 必要な学習量を行う

② 正しいやり方で学習する

① 具体的な目標設定をする

- 1.目標達成までの期間を決める
- 2.実現可能な目標を設定する
- 3.達成が分かりやすい目標を立てる

② 現状の把握

- 1.模擬試験を受ける
- 2.プロのコーチからフィードバックを受ける
- 3.AIに判定してもらう

③ 学習スタイルの最適化 ➡ 次はここです

④ フィードバックと調整

③ 継続する

## ③学習スタイルの最適化

そもそも、、、  
人それぞれ異なる学習スタイルを  
持っていることをご存じでしたでしょうか？

自分の学習スタイルを認識し、それに合った方法を意識的に取り入れることで、質の高い効果的な学習を進めることができますよ。

これも、  
第二言語習得理論研究で強く重要視されている要素です。

具体的には、以下のような学習スタイルがあります。

1. 視覚型 (Visual)
2. 聴覚型 (Auditory)
3. 体験型 (Kinesthetic)

それぞれ説明していきますね。

# ③学習スタイルの最適化

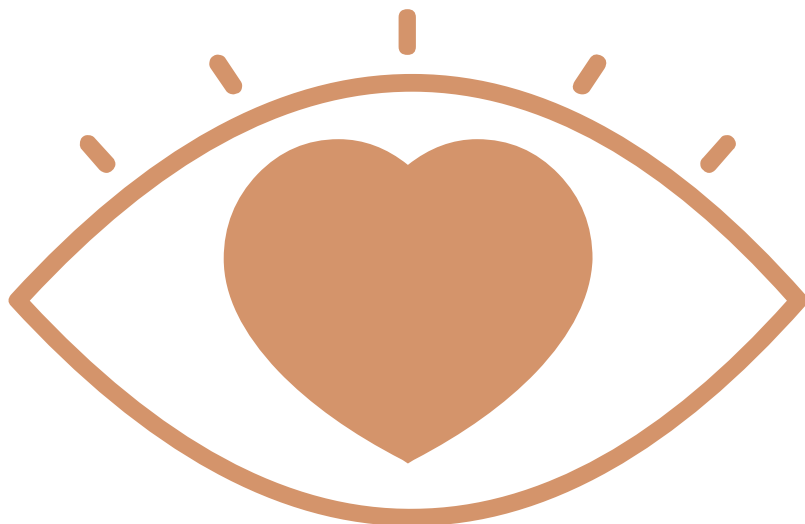
## 1.視覚型（Visual）

視覚型の学習者は、  
文字や図表、映像などの視覚情報を通じて学ぶのが得意です。

### 視覚型タイプの特徴

- 想像力が豊かで絵が上手
- ノートをとる際、グラフや表を好む
- 視覚的刺激に気が散る
- 誰かが実際にやっているところを見て学ぶと早い など

視覚的な要素を多く取り入れることで、理解が深まります。



# ③学習スタイルの最適化

## 2.聴覚型 (Auditory)

聴覚型の学習者は、  
耳から入る情報を通じて学ぶのが得意です。

### 聴覚型タイプの特徴

- 口頭での説明で理解するのが得意
- リズムや声のトーンに敏感
- 話しかけられたり、騒がしいところでは集できない
- ノートをとるより、音で聞くことを好む など

講義を聞いたり、音声教材を利用したりすることで、  
効果的に学習できます。





# ③学習スタイルの最適化

## 3.体験型（Kinesthetic）

体験学習者は、  
実際に手を動かしたり体験を通じて学ぶのが得意です。

### 体験型タイプの特徴

- 体を動かすのが得意
- じっとしているのが苦手
- 体を使って表現するのが好き
- 自分でやってみて学ぶのが早い など

実践的な活動を取り入れることで、理解が深まります。



# ③学習スタイルの最適化

## 自分の学習スタイルを見つける方法

自分の学習スタイルを見つけるためには、いくつかの方法があります。

以下に、  
簡単にできる学習スタイルを知る方法を2つ挙げますね。

### ●自己分析

これまでの学習経験を振り返り、  
どの方法が一番効果的だったかを考えます。

### ●学習スタイル診断テスト

オンラインで提供されている  
学習スタイル診断テストを受けてみましょう。

▶おすすめ：神田外語学院 学習スタイル診断

テストを受けなくても、多くの方は過去の経験から、  
自分が何型かはわかるのではないのでしょうか？

自分の学習スタイルを認識し、それに合った学習方法を取り入れることで、効率的に学習を進めることができます。

視覚、聴覚、体験、などのスタイルを理解し、最適な学習方法を見つけましょう。

これにより、学習の質が向上し、効果的に英語力を伸ばすことができますよ。

# ④フィードバックと調整

## 【英会話習得の全体像】

① 必要な学習量を行う

② 正しいやり方で学習する

① 具体的な目標設定をする

- 1.目標達成までの期間を決める
- 2.実現可能な目標を設定する
- 3.達成が分かりやすい目標を立てる

② 現状の把握

- 1.模擬試験を受ける
- 2.プロのコーチからフィードバックを受ける
- 3.AIに判定してもらう

③ 学習スタイルの最適化

- 1.視覚型 (Visual)
- 2.聴覚型 (Auditory)
- 3.体験型 (Kinesthetic)

④ **フィードバックと調整** ➡次はここです

③ 継続する

## ④フィードバックと調整

学習を進めていくと、  
もともと立てた計画から状況が変わることが多々あります。

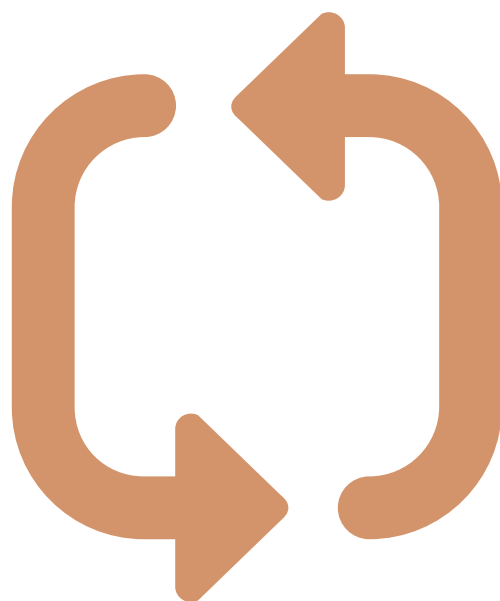
したがって、定期的に自分の学習の進捗を確認し、  
必要に応じて方法を調整することが重要です。

自分を客観的に見て、フィードバックを受けることで、自分の弱点を把握し、改善することができますよ。

この積み重ねが英語力を向上させ続けるためのコツです。  
フィードバックを受ける方法として、以下の2つがあります。

1. 定期的な自己評価
2. 他者からのフィードバック

それぞれ説明していきますね。



## ④フィードバックと調整

### 1.定期的な自己評価

毎月自分の進捗を確認し、目標達成度を評価しましょう。

自己評価を行うことで、どの部分がうまくいっているのか、どこを改善する必要があるのかが明確になります。

#### 自己評価の方法

- 学習日記をつける
- 定期的に模擬試験を受ける
- スキルごとに達成度をチェックリストで確認する
- オンライン英会話の録画を確認する
- 自分の発音を録画し、復習する

意識的に自分を振り返る時間を確保し、そのポイントを改善していきましょう。





# ④フィードバックと調整

## 2.他者からのフィードバック

友人や講師からのフィードバックを受けることで、自分では気づかない改善点を見つけることができます。

プロの視点からのアドバイスを受けることも非常に有効ですよ。

### フィードバックを受ける方法

- 定期的に講師との個別セッションを設定する
- 英語を話す機会を増やし、友人からの意見を聞く
- 英語コーチングを受け、確実に正しい方向に調整してもらう

以上のポイントを意識して学習を進めることで、効率的に英会話を習得することができます。

私が大切にしている考え方のひとつに、  
「昨日の自分より今日の自分になる」  
があります。

英語学習はすぐに結果が出るのではなく、地道な努力の積み重ねが段々と形になっていきます。

焦らず、少しずつ改善し、成長を実感していくことで、  
必ず成果が現れるはずです。

定期的な自己評価と他者からのフィードバックを通じて、常に学習方法を改善し、効果的な学習を実現しましょう。

## ③ 継続する

### 【英会話習得の全体像】

- ① 必要な学習量を行う
- ② 正しいやり方で学習する
  - ① 具体的な目標設定をする
    - 1. 目標達成までの期間を決める
    - 2. 実現可能な目標を設定する
    - 3. 達成が分かりやすい目標を立てる
  - ② 現状の把握
    - 1. 模擬試験を受ける
    - 2. プロのコーチからフィードバックを受ける
    - 3. AIに判定してもらう
  - ③ 学習スタイルの最適化
    - 1. 視覚型 (VISUAL)
    - 2. 聴覚型 (AUDITORY)
    - 3. 体験型 (KINESTHETIC)
  - ④ フィードバックと調整
    - 1. 定期的な自己評価
    - 2. 他者からのフィードバック

**③ 継続する ➡ 最後にここです**

### ③ 継続する

ここまで、「①必要な学習量を行う」「②正しいやり方で行う」を説明してきました。

最後に、「③ 継続する」です。

英語学習は、単なる暗記科目ではありません。

そのため、インプットして、

**自分なりに理解して終わりではないんですよ。**

※ここがその他の科目とは違うところ

英語の文法、単語、発音などを正しくインプットして、自分の言いたいことを自然にパッと口から出てくるように使いこなせなければ意味がありません。

そのため、この使いこなすためには、

「国語」「数学」「理科」「社会」など他の教科とは違い、頭に入れたうえで使いこなすためのトレーニングがどうしても必要になります。

それだけ他の強化に比べると難易度が高いと思ってください。

**ただ一方で、頭をそこまで使う必要がないので、やる気があれば必ず習得できます！**

第5章では、「継続するためのコツ」も紹介するので、安心してください。

# 第1章：まとめ

英語学習の本質は、

**「必要な学習量をこなし、正しいやり方で継続すること」**  
本当にこれに尽きます。

これは第二習得理論研究という大きなひとつの学問で、  
昔から証明されている真実です。

**実際、私や私の受講生もこの方法に沿った学習をすることで、  
飛躍的に英語力が上達しています♪**

この章では、  
英語学習における重要なポイントを詳しく説明しました。

まず、英会話を習得するためには、**約2,400～2,700時間の学習**  
が必要であり、日々の学習の積み重ねが重要です。

ただ多くの時間を費やすだけでなく、効率的に学習するため  
に、**自分に合った学習方法を見つけること**が大切ですね。

具体的な目標設定、現状の把握、自分の学習スタイルの認識、  
そして定期的なフィードバックと調整を行う。

さらに、これらを**継続すること**で、  
効果的に英語力を伸ばすことができます！

これが英語習得の全体像になります。  
もっと言うと、言語習得の本質です。

そのため、英語以外の言語を習得する際にも、  
この本質は変わらないですよ！

# 第2章：英語を構成する3つの知識

続いて第2章では、  
**英語という言葉**についてより深く理解していきましょう。

前章で述べたように、英語学習では自分自身の現状を分析し、  
適切に調整していく必要があります。

しかし、具体的にどのように調整するのが良いか、明確でない  
ことが多いでしょう。

英語という言葉そのものへの理解を深めることで、  
効果的な学習戦略を立てることができます。

## まず、 英語の構成要素を理解できていますか？

実は、英語はたった3つの知識で構成されています。

- ① 単語知識
- ② 文法知識
- ③ 発音知識

これらの要素が相互に関わり合い、英語の総合力を作っている  
んですよ。

そのため、各要素をしっかりと学ぶことで、  
英語力を効果的に高めることができます。

それでは、これらのスキルがどのように構成されているかみて  
いきましょう！

# ① 単語知識

英語を学ぶ上で、**単語知識は最も基本的で重要な要素**です。

単語がなければ、文章も会話も成り立ちません！

例えば、次の例文を見てみましょう。

**例文) She is reading a book.**

この文章は以下の単語で構成されています。

- She (彼女)
- is (～である)
- reading (読んでいる)
- a (一つの)
- book (本)

この例文の単語の意味がわかれば、  
**文章全体の意味を何となく推測できます。**

反対に、単語の意味がわからなければ、文章の意味を理解することは難しいでしょう。

つまり、単語知識は英語を理解し、使うための基礎となります。

ただ多くの日本人は、この単語に関しては知識として既に十分知っている傾向にありますね。

なぜなら、学校のテスト、受験勉強やTOEIC対策などの筆記試験へ向けて勉強してきているからです。

## ② 文法知識

文法は、英語を正確に理解し、使うためのルールです。

文法知識がなければ、言いたいことが相手に正確に伝わらず、誤解を招いてしまいます。

文法の重要性をスポーツに例えて説明しますね。

例えば、サッカーをする時、ルールを知らなければ正しくプレーすることはできませんよね。

どんなにドリブルやシュートが上手でも、ルールを知らなければサッカーというゲームは成り立ちません。

**英語の文法も同じです。**

正しい文法を知らなければ、どんなに多くの単語を知っていても、**相手に正しく伝わらなかったり、誤解を招いたりします。**

以下の例文を見てみましょう。

**例文) While he was singing, I was dancing.**

文法を知らないと、この文が以下のどれでも解釈できてしまいます。

1. 「彼が歌っている間、私は踊っていた」
2. 「私が踊っている間、彼は歌っていた」
3. 「彼が歌って、その後一緒に踊った」

これらの解釈の中で正しいのは、

**「彼が歌っている間、私は踊っていた」**です。



## ② 文法知識

文法知識がないと、この違いを理解することができず、また正確に伝えたいことが伝わらないでしょう。

このように、文法は英語を正確に使うための基盤です。

しっかりとした文法知識を身につけることで、正確に相手の意図を理解し、伝えたいことを伝えることができるようになりますよ。



### ③ 発音知識

発音は、

**相手の英語を理解し、伝わる英語を話すために欠かせません。**

英語は、リーディングやライティングのように文字で書かれた形もあれば、リスニングやスピーキングのように音で伝えられるものもあります。

音で伝えられるものを理解し伝えるには、発音の知識と実際に伝わる発音を身につけることが必要不可欠です。

まずは、**各単語の音を知り、実際に言えるようになることが基本です。**

例えば、以下の単語の発音を見てみましょう。

- he (hi)
- is (Iz)
- driving (draɪvɪŋ)

これらの単語の発音を正確に覚えるために、

**「発音記号」を理解することが重要です。**

発音記号は、英語の音を表す特別な記号で、これを読めるようになることで、正確な発音を学ぶことができます。

### ③ 発音知識

次に、音の変化や脱落のルールも理解する必要があります。

あなたは、こんな経験ありませんか？

英語を聞いた時、  
知っている単語で構成されているはずなのに、  
全然聞き取れない…。

例えば、  
"tell me about it" というフレーズを考えてみましょう。

発音記号に沿った音であれば “tel mi: ə'baʊt it” ですが、  
実際には “telmi(j)ə,baʊdɪ(t)” と発音されます。

これは、音の変化や脱落があるためです。

このように、いくら単語ひとつひとつの発音を知っていても、  
英語を聞き取ることは難しいんですよね。

## ③ 発音知識

そのため、正しく理解するためには、  
以下のような知識が必要です。

### ●音の変化

音が連続して発音されるときに、  
音が変わることがあります。

### ●音の脱落

音が省略されることがあります。

これらの発音ルールを理解することで、  
英語のリスニングとスピーキングのスキルが向上します。

単語を知っているはずなのに聞き取れないことに悩んでいる方は、  
上記2つの知識をまず身につけましょう。

発音知識をしっかりと身につけることで、英語のコミュニケーションがスムーズになり、自信を持って話すことができるようになりますよ。

# 第2章：まとめ

第2章では、英語を構成する3つの知識である**単語知識**、**文法知識**、**発音知識**について説明しました。

これらの要素は、  
英語を効果的に学習し、使いこなすための基本となります。

それぞれの要素をバランスよく学ぶことで、英語の総合力を高め、コミュニケーション能力を向上させることができます。

次章では、これらの知識をさらに深め、具体的な学習方法について探っていきましょう。



# 第3章：

## 実践的な英語力を身につける

第2章では、  
英語の構成要素「単語知識、文法知識、発音知識」について、  
これらが英語学習の基盤になることを理解しました。

この章では、これらの基盤を使いこなし、  
実際に英語を使う能力を高める方法を具体的に解説します。



# 英語を使う目的

英語を学ぶ最終的な目的は、実際に英語を使って話したり、聞いたり、読んだり、書いたりすることですね。

そのためには、次の3つの知識が重要です。

1. 単語の知識
2. 文法の知識
3. 発音の知識

しかし、これらの知識だけを知っていても、それを実際に使えなければ意味がありません。

そこで、「英語を使う」とは、

「これらの知識を使って、実際に英語を理解し、自分の考えを表現する能力を身につけること」

と考えましょう。

英語を使うためには、インプットとアウトプットの両方が必要です。

- インプット：読むこと、聞くこと
- アウトプット：書くこと、話すこと

この2つのスキルは、それぞれ別々の方法でトレーニングすることをおすすめします。



# 英語を使う目的

例えば、TOEICの点数は高いけれど話せないという人は、インプットはできていても、アウトプットの練習が足りていない典型的な例ですね。

**それでは、大量にアウトプットすればいいのか？**

**答えはNoですね。**

ここで重要なのは、インプットなしにアウトプットはできないということです。

英会話力を上げるためには、  
まずはインプットをしっかりと行い、  
それをアウトプットとして使う。  
この順番で練習することが効果的でしょう。

「英語を使う」とは、英語の3つの要素である単語の知識、文法の知識、発音の知識を適切に実践の場で使うことです。

したがって、英語を使う力を身につけるために、**読むこと、聞くこと、書くこと、話すことの4つのスキルをバランスよく身につけることが必要**ですよね。

次に、それぞれのスキルをより明確に理解するために、各スキルの具体的な学習方法について解説していきます。

# ① リーディングスキルを伸ばす学習法

リーディングは、  
書かれた英語を読み、その意味を理解することです。

リーディングスキルを向上させるためには、以下の方法が有効です。

例文) "I have a cat." (私は猫を飼っています。)

この英文を読むとき、最初に単語の意味を一つずつ理解します。

例えば、"I" (私)、"have" (持っている)、"a" (一匹の)、"cat" (猫) です。

ひとつひとつの単語を理解し、その順番で並んでいる理由を文法の知識で理解します。

こうして、ひとつひとつの単語の意味と文法を使って、  
**文章全体の意味を理解します。**

リーディングスキルの向上には、単語と文法知識が欠かせませんね。

最初は意識して単語や文法知識の確認を行いますが、この作業を続けることで徐々に無意識にできるようになります。

最終的には、文章を読むだけで自然に意味を理解できるようになることが目標です。

## ② リスニングスキルを伸ばす学習法

リスニングは、英語の音声を聞いて意味を理解することです。

リーディングと同様に、単語と文法の知識が必要ですが、リスニングには特に発音の知識と音を理解する瞬発力も求められます。

例えば、以下の例を見てみましょう。

**例文) "I like apples." (私はりんごが好きです。)**

ネイティブスピーカーは、"I like apples" を滑らかに、ほぼ一息で発音しますよ。

このとき、単語と単語の間の音が連結し、「I like apples」が「アイライキャッポウズ」のように聞こえることがあります。

したがってこの文を理解するためには、音のつながりや省略を知っておかなければなりません。

加えて、音を聞き取れても意味をすぐに理解できないパターンもあります。

## ② リスニングスキルを伸ばす学習法

英語の意味理解の瞬発力を鍛えるためには、以下の方法が効果的でしょう。

### (1). スラッシュリーディング

短い区切りで英文を読む練習をします。

例えば、**I bought an apple, / but / I forgot to eat it. (私はりんごを買ったが、 / 食べるのを忘れた。)**

といったようにスラッシュで区切って読むことで、文章の構造を理解しやすくなります。

音声を聞く際に自然な区切りで意味をとらえやすくなりますよ。

### (2). リピーティング

音声を聞いた後、同じ文を繰り返す練習です。

発音を真似しながら、意味も理解できるようになります。

## ② リスニングスキルを伸ばす学習法

### (3). シャドーイング

英語の音声を聞きながら、すぐにその音を繰り返します。

これにより、音の流れやイントネーションを身につけ、理解力も高まるでしょう。

リスニングスキルを向上させるためには、単語と文法の知識に加え、発音の知識と音を理解する瞬発力が必要です。

リピーティングやシャドーイングを取り入れて、音のつながりや省略を学びながら、リスニング力を高めてください！！



# ③ ライティングスキルを伸ばす学習法

ライティングは、自分の考えを英語で書くことです。

これを通じて、英語の知識を取り出し、文章を自ら作る力を鍛えることができます。

以下の方法を実践することで、ライティングスキルを向上させられますよ。

## ✓自分の考えを英語で表現する

まずは、自分の考えを英語で表現できるようになりましょう。

知っている単語と文法を使って文章を作成してください。

自分の知識で対応できない場合は、辞書やインターネットで調べて文章を完成させてもOKです。

**例文) I think English is an interesting language.  
(英語は面白い言語だと思う。)**

このようなシンプルな文章から始めて、少しずつ複雑な文章を書けるようにしましょう。

## ③ ライティングスキルを伸ばす学習法

この積み重ねで、自然に知識を取り出し英語のアウトプットができるようになります。

同じアウトプット練習なので、ライティングの練習を続けることで、スピーキングにも役立ちますよ。

また英語で考え、表現する力が養われるため、話す際にも自信を持つことができるはずです。



## ④ スピーキングスキルを伸ばす学習法

スピーキングは、自分の意見を英語で話すことです。

スピーキングスキルを向上させるためには、以下の方法が有効でしょう。

### ① 自分が言いたいことを英語で構成する

まずは、何を言いたいのかを簡単な英語でまとめてください。

例えば、コーヒーを注文したい場合には、以下のように言います。

**例文) "Can I have a coffee, please?"**  
(コーヒーをお願いします。)

### ② 発音の練習をする

この例文を使って、発音の練習を行います。

**発音記号や音のつながり**を学び、自分の発音を改善しましょう。

例えば、「Can I」の音のつながりや、「please」の発音に注意して練習します。



## ④ スピーキングスキルを伸ばす学習法

スピーキングスキルを向上させるためには、  
自分が言いたいことを英語でまとめ、  
それを繰り返し発音練習すること  
が重要です。

発音の練習を通じて、英語を聞き取る力も向上します。

これにより、英語でのコミュニケーションがスムーズになり、自信を持って話せるようになりますよ。



# 第3章：まとめ

第3章では、英語のリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの各スキルを向上させる具体的な方法を紹介しました。

英語を使うためには、知識を身につけるだけでなく、**それを実際に使う能力を高めることが重要です。**

これらの方法を実践し、英語力を総合的に向上させましょう。

<input type="radio"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/>	<input type="text"/>
<input type="radio"/>	<input type="text"/>

# 第4章：英語力ゼロから 英会話ペラペラまでの学習戦略

ここまで、第2章で「英語を構成する3要素」、  
第3章で「実践的な英語力を身につける方法」について  
解説してきました。

でも結局のところ、  
どういう順番で、具体的には、  
どう勉強していけばいいの？

正直、最適な英語学習方法は人によって違います。

その人の、

- ✓英語学習の目的
- ✓現在の英語レベル
- ✓性格
- ✓趣味嗜好
- ✓使える時間

など何もかもが違うからですね。

とはいえ、ゼロから話せる英語を身につけるための学習戦略を  
具体的に知りたい人もいると思うので、

ここでは、私が英語力ゼロからネイティブと日本語のように話  
せるようになるとしたら、どうするのが最短かという内容を紹介  
したいと思います。

# 私が英語力ゼロから英会話ペラペラを目指す学習戦略

おすすめの学習教材も交えて解説しますので、少しでも参考になれば幸いです。

## 私が英語力ゼロから英会話ペラペラを目指す学習戦略

- ① 現状の把握と、目標設定
- ② 英語の基礎を固める
- ③ 英語を使う
- ④ 改善を続ける

ここまで解説してきた内容に沿うと、大体どなたもこういう流れになると思います。

ただここから先の具体的な方法は、私の場合の学習戦略であり、あなたにとっての最短ロードマップではないことを理解しておいてください。



# ① 現状の把握と目標設定

まずは「現状の英語レベルを把握すること」と、「目標設定」からです。

これが英語学習に関わらず、何をするにしても重要なステップですよ。

今回は英語力ゼロからのスタートなので、

- ✓英単語の知識ゼロ
  - ✓英文法も分からない
  - ✓発音も当然知らない
- こういう状態にします。

従来は第2章で解説したように、「英語のテストを受ける」や「他者に客観的に見てもらう」などして現状の英語力を測ることがおすすめです。

続いて目標は、  
7年前の自分が夢見ていた、  
**「外国人と英語で日本語のように話せる」**  
状態です。

# ① 現状の把握と目標設定

もちろん、今では達成していますが、7年前は、

- ✓英語のリスニングが最大の苦手
- ✓どんなに勉強しても全然英語ができない
- ✓外国人が何を言っているのか全く分からない
- ✓外国人が何に笑っているのか分からない
- ✓言いたいことが、英語で全然言えない

こんな状態でしたね😓

それでも私は人が好きだったので、外国人とも普通にコミュニケーションをとれるようになりたかったです!!

なのでこの設定で学習戦略を紹介しますね。

**因みに私の学習スタイルは「体験型」です。**

実際の体験を通じての学びが得意な方は、「体験型」である可能性が高いですよ。

## ② 英語の基礎を固める

続いて**英語の基礎を固めるフェーズ**です。

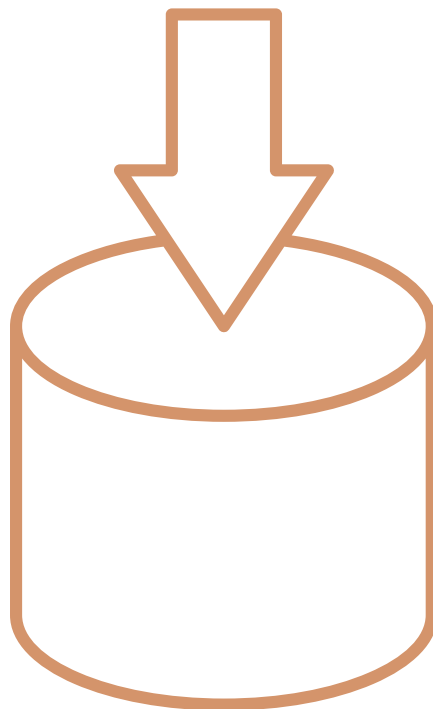
7年前の英語レベルでは、英語を構成する3つの要素が身につけていないので、英語は当然使えません。

サッカーに例えると、

- ✓ サッカーのルールを知らない
  - ✓ ボールの蹴り方が分からない
- こんな状態でしょう。

なのでまずは、

- ① **英単語の基礎を固める**
  - ② **最低限の英文法を身につける**
  - ③ **発音を学ぶ**
- これらを行います。



## ② 英語の基礎を固める

### ① 英単語の基礎を固める

英単語の学習はほんとにゼロからなので、以下2つの教材を使いますね。

(1). キクタン【Entry】2000語レベル

(2). キクタン【Basic】4000語レベル

ネイティブが普段使っている語彙の幅が約3,000～4,000語とされているので、4,000語まで出来れば十分です。

おそらく、中学・高校と英語を真面目に勉強されてきた方は、「(1). Entryレベル」はスキップできるでしょう。  
それどころか、単語の新しい勉強は不要な方もいると思います。

ただ今回は英語力ゼロからなので、Entryレベル、Basicレベルと順に進めていきます！！





## ② 英語の基礎を固める

### ②最低限の英文法を身につける

続いて、英文法の学習です。

こちらは以下のステップで行います。

**1** 中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。

**2** 毎日の英文法

全く英文法の知識がないと、  
英語は暗号にしか見えないでしょう。

なので最低限の英文法を学ぶために、

「**1** 中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。」  
これをまず、やり切ります！

正直テキストはこれでもなくても、中学英文法を身につけられる  
レベルであればなんでもいいです。

その次に、「**2** 毎日の英文法」ですね。

これも本当に神テキストです。

英語のテストの点数を取るための勉強ではなく、

話すことに特化し、実際にネイティブが使う英語表現から、  
必要な英文法を厳選して学べるテキストです。

## ② 英語の基礎を固める

### ②最低限の英文法を身につける

さらに、使い方としては、いわゆる瞬間英作文ですね。

状況をイメージして、例文ごと丸々体で覚えます。

これをする事で、

言いたいこと→日本語にする→英語にする→英語で話す  
ではなく、

言いたいこと→英語がでてくる→英語で話す

このプロセスで英語が話せるようになります。

つまり何が言いたいのかというと、

日本語のように、英語でパッとと言える力が身につく  
ということです。

これは多くの方におすすめしたい学習方法ですね。

## ② 英語の基礎を固める

### ③ 発音を学ぶ

英語を構成する基本要素の最後は、「発音」です。

日本の英語教育では、あまり音中心の勉強が習慣化されていません。

しかしながら、

英会話は英語を音で受け取り、音で答えるコミュニケーションスタイルです。

そのため、全ての土台であり、非常に重要です。

私が発音をゼロから学ぶなら、YouTubeチャンネル「Sounds American」を活用します。

<https://www.youtube.com/@SoundsAmerican>

実際私も、5年前くらいに音の学習が重要だと気づいてから、このチャンネルを使って発音を学習してきました。

ネイティブにも、

**「発音が綺麗であなたの強みだね。」**

と言ってもらえているので、間違いないと思います。

## ③ 英語を使う

英語の基礎が最低限身についたら、どんどん英語を使っていきましょう！

第3章でも解説しましたが、  
英語学習は正しい英語をインプットして、  
それをアウトプットする、  
これをセットで学習すべきなんですよ。

なので、インプットしたらどんどん使っていきましょう！

しかし、私の場合はいきなり実践英会話は怖いので、以下の手順でやっていきます。

- ① 英語日記
- ② ひとり英会話(独り言)
- ③ AIと英会話
- ④ オンライン英会話
- ⑤ リアルで外国人と話す

これも人によって適した方法やタイミングがあるので、その点だけ注意してください。

それでは簡単に説明していきますね。

# ③ 英語を使う

## ① 英語日記

まずは英語日記から始めます。

**いきなり英語を話すことは間違い**なんです。

そもそもスピーキングとは、  
言いたいことを英語にして、英語を口にすることですよね？

つまり、スピーキングはライティングの上位互換です。

そのため、言いたいことをパッと英語に直せなければ言えるは  
**ありません！**

いきなりスピーキング、いきなり英会話に挑戦し、  
挫折してしまう方が多いです。

なので、私はまず英語日記から始めます。

私は一日の最後に、今日一日を振り返り日記で書く習慣があるので、それを英語でやるだけです。

英語日記を続けることで、  
「言いたいこと」を中心とした英語学習の時間となり、  
アウトプットをする力が向上します。

# ③ 英語を使う

## ② ひとり英会話

英語が書けるようになったら、スピーキング練習に入ります。

しかしいきなり、他人との英会話はハードルが高すぎる可能性があります。

なぜなら、英会話にはスピーキング力だけでなく、リスニング力、瞬発力、応用力など様々な要素が必要になるからです。

ハードルが高すぎる学習は、効率的でない上に、英語学習のモチベーションの低下に繋がります。

ですから、  
**自分だけで完結するスピーキング力特化の「ひとり英会話」**を  
やります。

「ひとり英会話」とは、思ったことや言いたいことをひとりで英語で呟くことです。

**いわゆる、独り言ですね。**

独り言なので、誰にも聞かれる心配はなく、  
気軽にスピーキング練習を実践できます。

## ③ 英語を使う

### ③ AIと英会話

続いて、AIとの英会話に移ります。

私が英語学習を始めたころは、  
ChatGPTなどのAIは登場していませんでしたが、  
今はAIがあります。

なので、ひとりで簡単に他人と英会話することが可能です。

しかもAIなので、英会話し放題ですし、話すトピックや話すスピードを簡単に調整できます。

本当にこれは使ったほうがいいですね。

このように、

**英語日記→ひとり英会話→AIと英会話**

とスモールステップを繰り返すことで、徐々に一步ずつ対面との英会話の準備ができてきます。

# ③ 英語を使う

## ④ オンライン英会話

次は、やっと人との会話「オンライン英会話」です。

人によっては、対面での会話もいいですが、私は講師の方といつでもどこでも授業ができるオンライン英会話を行います。

私の場合、**オンライン英会話もレベルに応じて使うプラットフォームを変えることで効率よく英会話力を伸ばすことができました。**

まずはとにかく量を確保できる「ネイティブキャンプ」を使用。レギュラーのプランでは、第二言語として英語を流暢に話す講師と無制限で英会話ができます。

英語もネイティブに比べ分かりやすいため、英会話初心者にはおすすめです。

私の場合は、ネイティブキャンプでの英会話に慣れ、さらなる自然な英語を身につけたくなったタイミングで「Cambly」に移行しました。

ここでさらに実践的で自然な英語力を身につけます。  
もう一度ゼロからでも、同じ道をたどりますね！

英語は継続が何より大事。

**流暢に話せるようになった後も、英語に触れない日がないよう、なるべく毎日レッスンを受けます。**



# ③ 英語を使う

## ⑤ リアルで外国人と話す

ここまできたら、とうとう目的であった、外国人とのコミュニケーションです。

日本で生まれ、日本で育ち、外国人の知り合いがいない人でも、今は簡単にその機会を得ることができます。

たとえば、

- ✓ 語学留学
  - ✓ 海外の大学
  - ✓ 海外の企業で働く
  - ✓ 外国人のコミュニティに入る
  - ✓ 外国人関連のボランティアに参加する
- などですね。

私は同じように語学を学ぶ人とつながりたいので、  
「語学留学」か「海外の大学」を選択すると思います。

このようにせっかく身につけた英語のスキルは、どんどん使っていきましょう！

## ④ 改善する

最後は改善するフェーズです。

これは最後にやるというよりも、  
**英語を学びながら、自分の英語を改善し  
アップデートしていく、**  
そんな意味あいです。

どれだけ身につけた英語をアウトプットしても、  
自分の英語を振り返り、改善しなければ、新しい英語表現は身  
につきませんし、英語力は改善しません。

したがって、  
**TEDTALKやポッドキャストなどを使った意味のある英語のイン  
プットと、ライティングやオンライン英会話などのアウトプッ  
トの要素を組み合わせながら、日々改善しアップデートしてい  
くことが重要です。**



# 第4章：まとめ

以上が

私が英語力ゼロから、英会話ペラペラを目指す最短の学習戦略です。

かなり長くなってしまったので、学習戦略を以下にまとめました。

## 【英会話習得の全体像】

- ❶ 現状の把握と、目標設定
  - ① 目標設定
  - ② 現在の英語レベルを確認する
- ❷ 英語の基礎を固める
  - ① 英単語
  - ② 英文法
  - ③ 発音
- ❸ 英語を使う
  - ① 英語日記
  - ② ひとり英会話
  - ③ AIと英会話
  - ④ オンライン英会話
  - ⑤ 外国人と英語で話す
- ❹ 改善する

# 第4章：まとめ

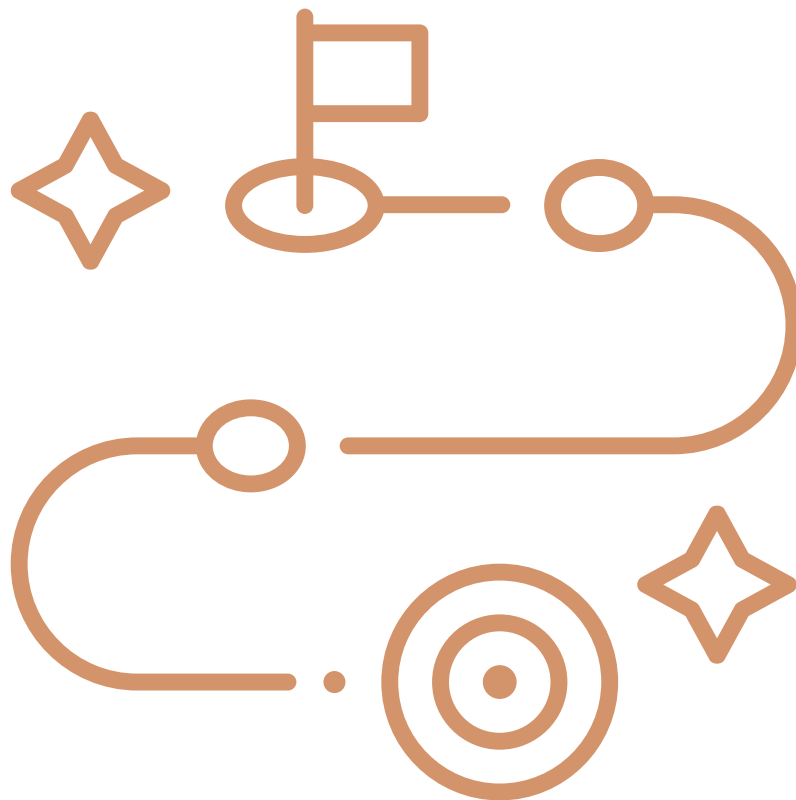
なんとも言いますが、  
これは私が英語力ゼロから始める場合の学習戦略です。

人によっては不必要な項目や足りない項目などが多数発生します。

**あくまで、参考程度に受け止めてください。**

英語学習の本質という意味では、本電子書籍の第1章～第3章が超重要です。

この第4章はそれらの内容に沿って、私の事例に当てはめたにすぎません！



# 第5章：モチベーションを保つコツ

英語学習を続けるには、  
**モチベーションを維持すること**が非常に重要です。

なぜなら、英語力はすぐには向上せず、小さな日々の積み重ねの結晶だからです。

ここでは、学習のモチベーションを保つための方法を紹介していきます。

具体的には以下の5つです。

## モチベーションを保つコツ5つ

- ①具体的な目標を設定する
- ②学習の進捗を記録する
- ③ご褒美を設定する
- ④自分に合った方法で学習する
- ⑤学習仲間やコミュニティを活用する

それぞれ解説します。

# ①具体的な目標を設定する

モチベーションを保つには、第1章の「具体的な目標を設定する」で紹介した通り、明確な目標を立てることが重要です。

目標を設定することで、学習の方向性が明確になり、モチベーションを保ちやすくなります。

目標は短期、中期、長期の3つに分けて設定すると効果的です。

## (1). 長期目標

「1年後に英語でニュースを理解できるようになる」などの長期的な目標を設定します。

## (2). 中期目標

「3ヶ月後に簡単な会話ができるようになる」など、少し長い期間で達成を目指す目標を立てます。

## (3). 短期目標

「今週中に新しい単語を10個覚える」などの短い期間で達成できる目標を設定します。

## ② 学習の進捗を記録する

進捗を記録することで、学習の成果を実感しやすくなり、モチベーションが高まります。

### (1). 学習日記をつける

毎日何を学んだか、どれくらいの時間勉強したかを記録します。

### (2). チェックリストを作成する

学びたいことや目標をリスト化し、達成したらチェックを入れるようにします。



### ③ ご褒美を設定する

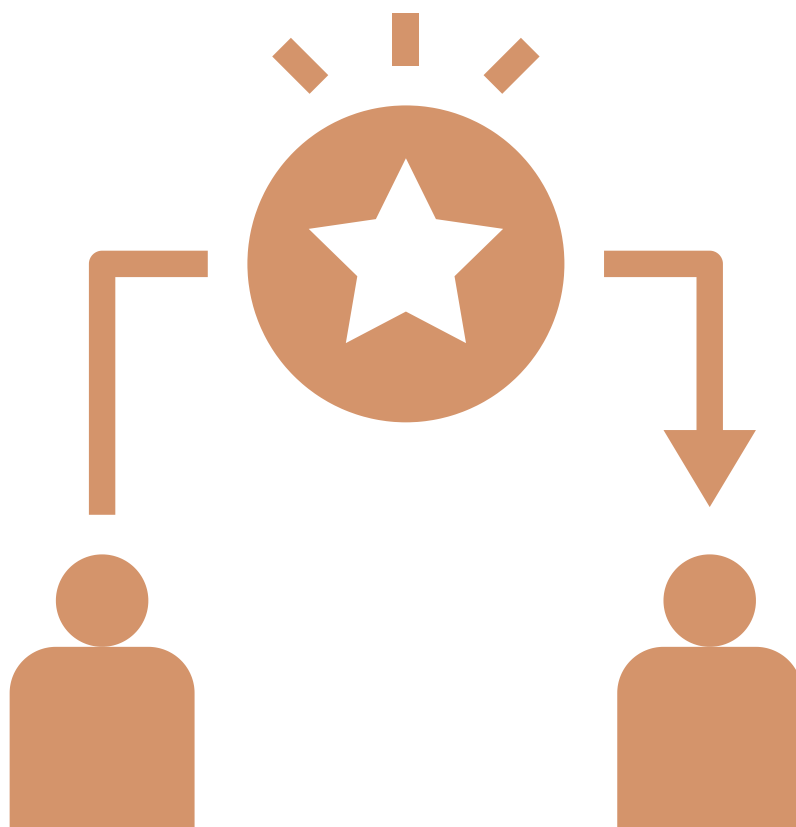
目標を達成したときに自分にご褒美をあげることで、モチベーションを維持しやすくなります。

#### (1). 小さなご褒美

短期目標を達成したら好きなお菓子を食べる、映画を見るなど。

#### (2). 大きなご褒美

長期目標を達成したら旅行に行く、新しい服を買うなど。





## ④ 自分に合った方法で学習する

興味のあるテーマや方法で学習することで、  
楽しく学べるようになります。

### (1). 興味のあるトピックで学ぶ

スポーツ、音楽、映画など、自分が興味を持っているテーマを  
英語で学びます。

### (2). 完璧主義を捨てる

計画通りに進まない場合は、別の学習方法を試してみます。

例) オンライン英会話の代わりに英語のライティングを行う など。



## ⑤ 学習仲間やコミュニティを活用

一緒に学習する仲間やコミュニティがいて、  
励まし合いながら学習を続けることができます。

### (1). スタディパートナーを見つける

友達や同僚と一緒に学習することで、お互いにモチベーションを高め合います。

### (2). オンラインコミュニティに参加する

英語学習者のコミュニティに参加して、情報交換や励まし合いを行います。



# 挫折を乗り越える 4つの秘訣

英語学習には挫折がつきものです。

本当に、この挫折をどう乗り換えるかが大切です。

しかし、困難に直面した際にどう対処するかで成果が大きく変わります。

以下に挫折を乗り越えるための4つの方法を紹介しますね。

## ①完璧主義を捨てる

日本人の特徴として、失敗を極端に恐れる傾向があります。

しかし、言語はあくまでもコミュニケーションのツールです。  
間違っても、伝わることが一番大切です。

もしうまく表現できなかったとしても、次にできるようになれば、あなたの英語力はどんどん伸びていきます。

完璧主義を捨てて、自分に優しく、ポジティブに学習を続けましょう。

# 挫折を乗り越える 4つの秘訣

## ②小さな成功体験を積む

毎日の積み重ねが成果を生みます。

たとえ上手く英語で話せなかったとしても、今日も英語に触れた自分を褒めてあげてください。

### 考え方のコツ

- 毎日短い時間でも、できることで英語に触れる
- すぐに使えそうなフレーズを覚え、実際に試してみる
- 継続ができた自分を褒める

## ③学習を習慣化する

毎日同じ時間に学習することで、継続がしやすくなります。

例えば私の場合、

**毎朝8:30にオンライン英会話を予約していました。**

初めは眠くて嫌だと感じる時もありましたが、続けるうちに自然と習慣になりました。

### 習慣化のコツ

- 自分に合った学習時間を見つける
- 毎日決まった時間に学習を取り入れる
- リマインダーを設定する
- 既存のルーティンに繋げて、英語学習をする

# 挫折を乗り越える 4つの秘訣

## ④ ポジティブな思考を持つ

英語学習は、地道な成長の過程を楽しむことが重要です。

学習のさまざまなプロセスで、意識的に前向きに捉え直しましょう。

### ポジティブな思考を持つコツ

- 成長の過程を楽しむ
- 学習の進捗を記録し、自分の成長を確認する
- ポジティブな言葉を自分にかける

**とにかく完璧主義を捨て、  
失敗を恐れずに学び続けましょう。**

小さな成功体験を積み重ね、学習を習慣化することで、英語力は着実に向上します。

ポジティブな思考を持ち、自分の成長を楽しみながら学習を続けましょう！

# 終章

## あなたが英語学習をやるべき理由

ここまで読んでくださった皆さん、  
本当にありがとうございます！！

最後に、私から英語を学ぶことの素晴らしさをお伝えしたいと  
思います。

### 私自身、英語で人生が変わりました！

今では信じられないと言われますが、  
元々はこんな人間でした。

- ×将来やりたいこともない
- ×自分に目立ったスキルもない
- ×英語は大の苦手
- ×自分に自信がない
- ×常にオドオドして意見も言えない

しかし、英語を学び始めてから、  
自分の日々の成長過程を楽しみながら  
少しずつ自信を持てるようになりました○

英語でコミュニケーションが取れるようになると、会話できる  
範囲が日本から世界中に広がり、劣等感の塊だった自分を認め  
てくれる人たちに出会えました。

# 終章

## あなたが英語学習をやるべき理由

自分自身を認められるようになり、現在は世界中の人とコミュニケーションを取ることで、世界の視点で日本を見れています。

これは本当に大きいので、  
是非皆さんにも体感してほしいです😊

視野が広がり、日本国内だけでなく、  
地球視点で出来ることの可能性が広がりました。

ちなみに私は今海外に住み、毎日国籍が全然違う人と楽しく会話しています笑

充実度が半端ないです🌟

- ✓ ニュースを見る時も聞く時は**英語**
- ✓ 何か調べものする時は**英語**
- ✓ 新しいことを勉強・学習する時は**英語**
- ✓ 海外のコンテンツで娯楽を楽しむときは**英語**
- ✓ 日本のアニメや漫画、ドラマを楽しむ時は**日本語**
- ✓ 国籍の違う外国人と会話するときは**英語**
- ✓ 日本人や家族と話しをするときは**日本語**

私は、英語と日本語、この両方を  
マスターしていることが本当に大きいと思っています。

# 終章

## あなたが英語学習をやるべき理由

英語と日本語の2言語が話せるだけで、  
話せる人の対象が10倍以上に広がり、異文化交流の過程で、  
自分の価値観や常識が一気に変わります。

まさに人生が大きく変わったと感じた瞬間でした🌟

### あなたも、想像してみてください！

- 15億人以上の人と話すことができ、  
外国人の友人・恋人・親戚・家族ができるかもしれない
- 働く場所を海外に移すだけで、  
年収が2倍～3倍になるかもしれない
- 英語が話せるだけで、  
キャリアの選択肢は間違いなく広がる
- 海外旅行、海外の娯楽コンテンツ、海外グルメなど  
あらゆるものを世界基準で堪能できる
- 海外移住、海外留学、海外旅行、海外生活など  
家族を安心して、海外へと連れて行ってあげられる
- 子どもや孫に、海外の教育を経験させてあげられる

英語をマスターすれば、これらが現実になります！



# 終章

## あなたが英語学習をやるべき理由

さらに、日本は観光地・食事・漫画、アニメ、音楽などのエンタメどれをとっても一級品です。

日本のものを120%楽しむためには、日本語が話せることは必須事項ですからね。

なので私は、日本人として生まれて、日本で育ち、  
日本語が話せる上で英語・英会話を習得することは、  
人生を大きく変える価値があると思っています。

英語を母国語とするアメリカ人やイギリス人に生まれていたとしても、日本語を勉強するでしょう！

私だけでなく、多くの人に、この人生の充実を体感してもらいたいです。

※大切なことなので、2回言いました笑

このように英語学習は、単なる言語習得にとどまらず、  
あなた自身を好きになるきっかけを与え、人生を豊かにしてくれます。

# 終章

## あなたが英語学習をやるべき理由

英語を学ぶことで、新しい友達ができ、仕事の幅が広がり、様々な文化に触れるきっかけも与えてくれます。

とにかく完璧を目指さず、  
小さな一步一步を楽しむことが大事。

私が英語で人生を変えたように、

**あなたも、英語で新しい世界を切り開き、  
ワクワク溢れる人生を作っていきますか？**



# P.S.

## 本電子書籍の感想を メルマガに返信する形で送ってください。

送ってくださった方には、

私の受講生にしか公開していないコンテンツ👉

- ▶ **あなたのリスニングが伸びない本当の理由はこれ！？**  
5分で見抜く分析ワークブック【原因と対策が明確に】
- ▶ **【PDF86ページ】前置詞のモヤモヤが一瞬で消える！！**  
感覚的にスラスラ使えるようになる完全ガイド
- ▶ **『英語が出てこない…』を完全に卒業！！**  
“英語脳”を形成する瞬間英作文トレーニングブック

を無料でプレゼントいたします。



# P.S.

この内容は本当に有料級で、  
この内容を知っている人・知らない人とは  
英語学習の結果に大きな差が生まれるでしょう。  
本電子書籍の内容とあわせれば、  
**間違いなく英語学習のリテラシーが日本人上位1%**  
に入ります。

100文字くらいでいいので  
ぜひ感想を送ってみてください。

もちろん楽しかったとか、役に立ったとか、  
小学生みたいな感想ではダメですよ笑

この電子書籍で多くの学びがあったと思うので、忘れないように  
アウトプットの場として利用してくださいね。

**私しか見ていないので、是非！！**

**英語学習に対して熱量を感じる感想を送ってくださった人には  
さらに追加の特典もお渡しします。**

# P.S.

メルマガへの返信でOKですので、ぜひ！

それでは今回は以上です。

これからも定期的に、メルマガで色々な情報をお届けできたら  
と思っているので、楽しみに待っていてください。